

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいの美小平		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 8日		2025年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日		2025年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	重症心身障害児に配慮した入浴支援と設備の整備	入浴支援を通じて、本人支援の5領域を総合的に意識した関わりを行っています。ゆとりを持って利用できるストレッチャー浴と、ご自宅に近い環境での個浴を、利用者様の特性や希望に応じて提供し、心身の安定につながる支援を心がけています。	入浴の時間がより充実したものとなるよう、季節感を取り入れた装飾や、身体の緊張が和らぐ入浴内容について検討・計画していきます。
2	施設内他事業所(放課後等デイサービス、生活介護、高齢者施設)との交流する機会を設け、社会性の育成を図る	3事業所が同一フロアにある環境を活かし、日常的に異年齢との交流や活動を行っています。行事では合同参加を行い、楽しみの共有を図っています。長期休暇中は利用者家族のお子様も参加できる機会を設けています。さらに、併設する高齢者施設との交流を通じ、社会性を育む支援につなげています。	地域の学校や施設との交流機会を広げるため、スタッフやボランティアの受け入れを積極的に行い、今後も取り組みの充実を図っていきます。
3	保護者との連携・情報共有の充実	個別性に配慮した支援のため、利用時や送迎時には看護師または支援員が同乗し、連絡帳に加えて口頭でも日々の様子を保護者へ伝える体制を徹底しています。また、月1回の定期便りとは別に「あんず通信」を発行し、事業所の取組や日常の様子を共有しています。さらに、年2回の保護者会ではランチ懇談会を実施し、意見交換の機会を設けています。	保護者同士が交流・情報交換できる場を整備しています。また、法人内の他事業所と合同で父母会設立の準備を進めており、今後も保護者支援の充実を図っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園などとの交流や、地域での他児との活動機会が限定的である。	障害の程度や医療的支援の状況を踏まえると、交流の幅に制限がある。	長期休暇中は、利用者家族や地域の行事を通じて、同年齢の子どもとの交流の機会を広げており、今後もこうした取り組みを工夫・充実させていきます。
2			
3			